

「空はどこにもある」

ヌリートさん 気功・指圧と絵画展

ヌリート・マソン・セキネさん(右)と秋葉なつみさん(左)が、ヌリートさんの「空はどこにもある」展のオープニングパーティーに参加している。

「空はどこにもある」は、演劇の衣装や舞台美術を手がけるなど、幅広い分野で活躍している。展覧会はテアトロ・アルトゥル・ルピンスタイン(シヤルデイン・パウリスタ)の区ウングリア街一〇〇番で、五日正午から午後三時までオープンセレモニーが行われ、八月六日から九月十二日まで午前八時から午後十時まで展示される。

フランス人アーティスト、ヌリート・マソン・セキネさん(五十歳)は「気功・指圧」のワークショップと「空はどこにもある」と題した展覧会を開催する。

「空はどこにもある」は、演劇の衣装や舞台美術を手がけるなど、幅広い分野で活躍している。展覧会はテアトロ・アルトゥル・ルピンスタイン(シヤルデイン・パウリスタ)の区ウングリア街一〇〇番で、五日正午から午後三時までオープンセレモニーが行われ、八月六日から九月十二日まで午前八時から午後十時まで展示される。

「気功・指圧」のワークショップは十二日から十五日にかけて、エスバツソ・7(アントニア・デ・ケイロス街四七四番)で、十六日と十七日はブラジル太極拳協会(ジョゼ・リスボア街六一番)で行われる。参加費は一人二百二十リアルで申し込みが必要。締め切りは定員になり次第。案内のため来社したヌリートさんは「体のバラ



案内のため来社した秋葉なつみさん(左)とヌリート・マソン・セキネさん(右)

ンスが良いときは体からいい香がしてきます。ワークショップでは是非体験してください」とたくさん参加を呼びかけていた。

また、ヌリートさんは九日と十六日の午後七時半から午後九時半まで、国際交流基金三階文化ス

ペースで暗黒舞踏に関するビデオの上映を行う。